

2024年1月21日(日)掲載

がん予防のススメ Vol.88

若年性乳がんと ブレストアウエアネス



徳島大学病院
乳腺外科
食道・乳腺・甲状腺外科

ゆきしげ さわか
行重 佐和香氏

乳がんは増加傾向にあり、日本人女性の9人に1人が生涯の間に乳がんにかかると言われていました。AYA (adolescent and young adult) 世代と呼ばれる15〜39歳の割合は、乳がん全体の約5%ですが、AYA世代の中では20歳代から乳がんが増加し、30歳代では最も多くなります。日本でのマンモグラフィ検診は現在40歳以上の女性が対象となっているため、AYA世代乳がんのほとんどは乳房のしこりや乳頭からの血性分泌などの自覚症状が発見契機となります。そのため早期発見には、日頃から乳房を意識する生活習慣「ブレストアウエアネス」が大切です。自分の乳房の状態を知り、乳房の変化に気をつけて、変化を感じたらすぐに医療機関に相談していただく。



徳島大学病院 がん相談支援センター
がんの相談はこちらへ 相談窓口 Tel.088-633-9438

がん診療連携センター
<https://www.tokudai-ganrenkei.jp>



徳島がん対策センター
<https://www.toku-gantaisaku.jp>